

# Excel

## 集めた小技集

第2版



IT予備 ( <https://it-yobi.com/> )

# Excel小技集

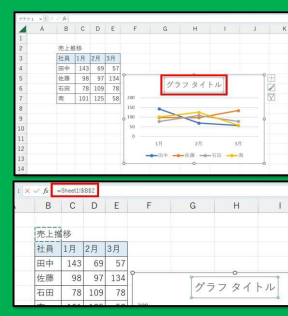
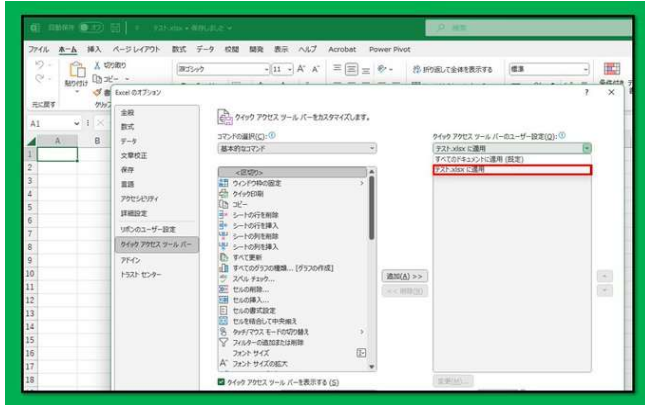
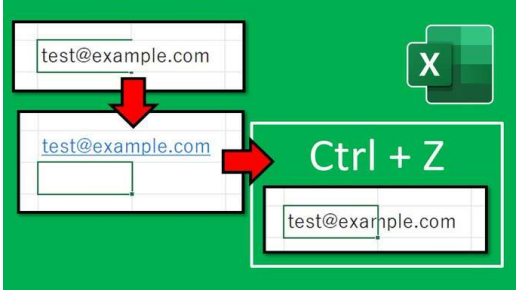
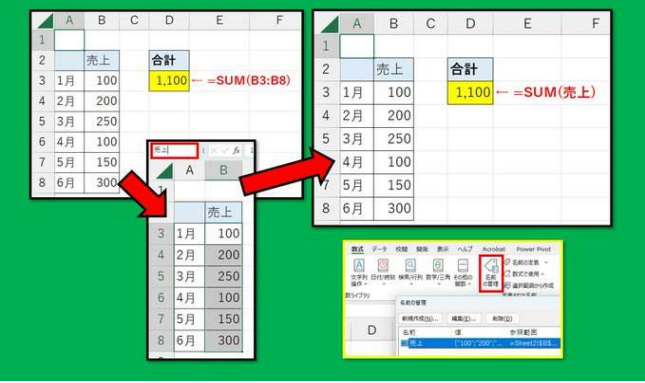
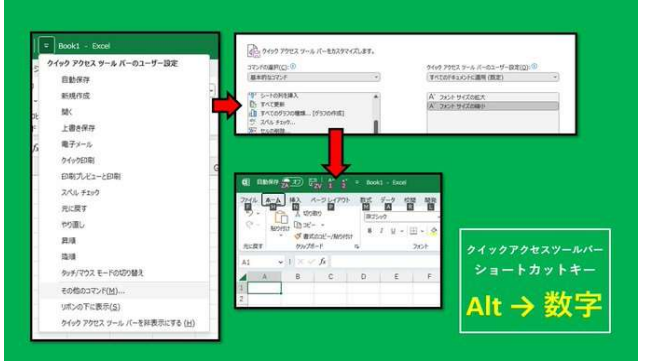
No	重要度	投稿内容	画像
1	★★☆	<p>SWITCH関数で"その他"を表現！</p> <p>第1引数に、分岐する対象の値、 第2引数以降は「条件,表示内容」を交互に設定します。</p> <p>その他を表現したい場合は、最後の引数をベアではなく「表示内容」だけにします☺</p>	
2	★☆☆	<p>『VLOOKUP関数を使わずに祝日を反映』</p> <p>NETWORKDAYS.INTL関数で期間内の営業日数を求めることができます！</p> <p>開始と終了を同日にすることで、営業日なら1、休みなら0とすることができます☺</p> <p>定休日は月~日で休みを1として"0000011"でも設定可能！</p>	
3	★★☆	<p>『締め日が20日の場合の対象月を求める』</p> <p>「日付から20日を引いた月の翌月を求める」という方法があります！</p> <p>EDATE関数は"1/31"の翌月は"2/31"のように存在しない場合、"2/28"と月末を指定してくれます！</p>	
4	★★★★	<p>『時給の計算が上手くいかない…』</p> <p>そんな時は、表示形式とシリアル値を見直すと解決するかもです！</p>	<p>①表示形式を「h:mm」から「[h]:mm」にして24時間以上を表示 ②合計値はシリアル値(1日を1で表現した値)なので24倍し時間を求める</p>
5	★☆☆	<p>『1つの式で表を比較』</p> <p>AND(表1=表2) という配列数式を活用して求められます！</p> <p>※スピルが対応していないバージョンの場合は、数式の確定の際に「Ctrl+Shift+Enter」を行う</p> <p>aとAを不一致にしたい場合は、 AND(EXACT(B2:C6,E2:F6)) を条件に！</p>	

No	重要度	投稿内容	画像
6	★★★	<p>日付の比較がうまくできない🐼</p> <p>その原因は、日付を文字列で表現していませんか？</p> <p>日付は「2023/1/23」のような文字列に見えても、内部では「44949」というシリアル値で管理されています！</p> <p>そんなシリアル値を求める関数がDATE関数です😊</p>	<p>DATE(2023,1,23)は年月日からシリアル値(44949)を求める関数です</p>
7	★★★	<p>図形のサイズ調整は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Alt</li> <li>・ Ctrl</li> <li>・ Shift</li> </ul> <p>を使うべき！</p> <p>Ctrl + Shift のように組み合わせもできます😊</p>	<p>Ctrl + ドラッグ： 中心を保持</p> <p>Alt + ドラッグ： 罫線に合わせる</p> <p>Shift + ドラッグ： 縦横比を保持</p>
8	★★★	<p>『数値と文字列は一緒にしない！』</p> <p>文字列が含まれると想定外の結果になることがあります。大きな表だと、それに気づかずに集計してしまうケースも…</p> <p>最悪、ISNUMBERなどを使って確認する必要があります🐼</p>	<p>数値の中に文字列がある場合は注意する</p>
9	★★☆	<p>『配列で計算』</p> <p>合計を計算する上で、個別の計算をしなくても一発で計算できます😊</p> <p>※スピルが対応していない場合は、数式入力後に「Ctrl+Shift+Enter」で確定する必要があります。</p>	<p>配列数式の仕組み</p> <p>※スピルが対応していない場合は、数式を入力後に、「Ctrl + Shift + Enter」で確定する {=SUM(C3:C6*D3:D6)} ※自動で{}で囲まれる</p>



No	重要度	投稿内容	画像
10	★☆☆	<p>『表を使わないVLOOKUP関数の活用』</p> <p>VLOOKUP関数で求めたいけど、元の表が邪魔な時は、配列定数でも表現できます！</p> <p>配列定数は「{ }」で表現し、列は「,」行は「;」で区切ります☺</p>	
11	★☆☆	<p>実は「%」は数式で使えたり…</p>	
12	★★★☆☆	<p>『コピーすると罫線が崩れてしまう対策』</p> <p>罫線は各セルに設定されています。B1とB2の真ん中に線が引かれていても、「B1の下」なのか「B2の上」なのかによって異なります！</p> <p>ここを意識して表を作成すると、罫線が崩れない表ができます☺</p>	
13	★★★☆☆	<p>『割り当てられていない行/列に自動色付け』</p> <p>実は条件付き書式で簡単にできます☺</p> <p>行(黄)の設定式は 「=OR(\$C3:\$G3&lt;&gt;"")=FALSE」</p> <p>縦(オレンジ)の設定式は 「=OR(C\$3:C\$12&lt;&gt;"")=FALSE」</p> <p>です！</p> <p>→OR関数で空白でないセルが1つでもあればTRUEにして、それがFALSEの場合に色付けです</p>	
14	★☆☆	<p>『表示形式』でもセル内改行できます！</p> <p>あまり使わないかもしれませんが、単位を改行して入力したい時などに使えるかもです☺</p>	

No	重要度	投稿内容	画像
15	★★★☆☆	<p>Excelの研修に使える『有料級の学習ファイル』</p> <p>「ヘルプ」にてトレーニング資料が配布されています😊</p> <p>"最低限が分からない"から"最低限が分かる"になる貴重な実践形式ファイルです！</p> <p>ぜひ研修に！</p>	
16	★★★☆☆	<p>『データの入力規則ではこんな設定も！？』</p> <p>データを入力する際に、文字の切り替え(あ⇔A)が面倒…そんな時は、IMEを設定することで、セルごとに自動で切り替えてくれます！</p> <p>「全角カタカナ」設定とかは特に便利です😊</p>	
17	★★★☆☆	<p>『数式の表示』</p> <p>Excelファイルの改修時などに便利な機能です😊</p> <p>よく手入力する資料の場合などは、数式が入っているセルに色を付けておくと誤って消さずに済むかもですね！</p>	
18	★★★★	<p>Excelのショートカットキーの中で個人的に一番好きなのはこれです！</p> <p>これを知ってから、かなりの時間が削減されました😊</p> <p>ほとんどのセルの設定が書式設定の画面から行えます！</p>	
19	★★★★	<p>意外と知らない人が多いですが、図形も「Ctrl+A」で全選択できます！</p> <p>「図形で「Ctrl+A」を押したらどうなるのか？」などと、なんでもやってみると新しい発見に繋がります！</p>	

No	重要度	投稿内容	画像
20	★★★	<p>『タイトルにセルの値を反映させる！』</p> <p>テキストボックスに数式を設定して参照することができます☺</p> <p>数式バーに入力している式は「=Sheet1!\$B\$2」です！</p> <p>「=」を入力した後に、セルを選択すると自動で入力されます！</p>	 <p>【グラフのタイトルにセルの値を反映】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① グラフタイトルのテキストボックスを選択</li> <li>② 数式バーを選択し、「=」に続いて対象セルを選択</li> <li>③ Enterで確定</li> </ol>
21	★★☆	<p>『クイックアクセスツールバー』</p> <p>意外と知られていませんが、クイックアクセスツールバーはブック単位でも登録できます☺</p> <p>なので、作成したマクロをボタンなどではなくクイックアクセスツールバーに登録するのもいいですね！</p>	
22	★★☆	<p>URLやメールアドレスをリンクにたくない☹</p> <p>そんな時は、入力後に「Ctrl + Z」でリンクを解除できます☺</p>	
23	★★☆	<p>セルに名前を付けれます！</p> <p>数式を直感的に分かりやすくすることができます☺</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 名前を付けたい範囲を選択</li> <li>② 名前ボックスに名前を入力しEnter</li> <li>③ 数式を作成</li> </ol> <p>名前の削除は[数式]→[名前の管理]からできます！</p>	
24	★★★	<p>よく使う機能は『クイックアクセスツールバー』に！</p> <p>ここに登録した機能は「Alt→数字」で簡単に実行できます☺</p>	 <p>クイックアクセスツールバー ショートカットキー Alt → 数字</p>

No	重要度	投稿内容	画像
25	★★★	<p>『VLOOKUP関数で列番号を数えない方法』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・COUNTAを使って項目数を計算</li> <li>・COLUMNを使って列番号を取得</li> <li>・MATCHを使って項目名から連番を取得</li> </ul> <p>など</p> <p>関数は組み合わせることで、より快適にもなります☺</p>	
26	★☆☆	<p>各シートに遷移するリンクを作る時などは、HYPERLINK関数を使うと効率がいいかもです！</p> <p>「シート1」シートのA1に遷移したい場合は、"#シート1A1"のように、参照式の先頭に[#]を付けると実現できます！</p>	
27	★☆☆	<p>『シリアル値の真実』</p> <p>Excel上での日付は1900/1/1から連番に数えたシリアル値で管理されています。</p> <p>しかし、この値は実在しない1900/2/29を含んでいます。</p> <p>→1900/3/1より前の日付を扱う場合は1日ずれていることを考慮する必要があります。</p>	
28	★★★	<p>Excelでの『小数の計算』は答えを間違えることがあります！</p> <p>これはコンピュータのデータの実体が2進数であるための誤差になります。</p> <p>小数を扱う集計の場合は、<math>10^n</math>をかけて整数にして計算するといいです☺</p>	
29	★★★	<p>セルの目盛線を白で塗りつぶさない！</p> <p>→[表示]タブから非表示にできます☺</p>	



No	重要度	投稿内容	画像
30	★★☆	<p>『TODAY関数をオススメしない理由』</p> <p>目的にもよりますが、書類の発行日などにTODAY関数を使うのはお勧めできません！</p> <p>なぜなら、開くたびに日付が変わってしまうからです🐼</p> <p>基本、今日の日付の入力には「Ctrl + ;」のショートカットキーを！</p>	
31	★★☆	<p>『コピーのちょっとした技』</p> <p>複数のセルに貼り付けるときは一括で出来ます！</p>	
32	★★☆	<p>『同じ値を複数のセルに入力』</p> <p>①Ctrlキーを押しながら複数のセルを選択 ②文字を入力 ③Ctrl+Enterで確定</p> <p>これだけです！</p>	
33	★★★	<p>答えは1つではありません！ ANDやORをCOUNTIFで求めることができます。</p> <p>関数の特徴を理解していると、応用が利きます。 しかし、複数条件はANDと思いきもと応用が利きません。</p> <p>私を含め、色んな人の解説を鵜呑みにせず方法の1つとっておくといいです☺</p>	
34	★★☆	<p>数式で複数条件を設定するとき！</p> <p>AND条件は「*」 OR条件は「+」 でも表現できます！</p> <p>見やすさだけでなく、特にスピル使用時に重要になります☺</p>	

No	重要度	投稿内容	画像
35	★★☆	<p>「;;;」←これ知っていますか？</p> <p>表示形式のユーザー定義に「;;;」と設定すると、文字が非表示になります！</p> <p>背景色と同じ色に塗りつぶす必要がありません！</p> <p>ちなみに 「"×";"×";"×";"×"」 と設定したらどうなるでしょうか☺</p>	
36	★★☆	<p>社内外に展開する資料は『ストック画像』！</p> <p>画像の挿入の中に、オンライン画像とストック画像があります。</p> <p>オンライン画像では、ブラウザで検索した画像と同様に著作権の確認が必要です。</p> <p>それに対し、ストック画像はロイヤリティフリーです！</p>	
37	★☆☆	<p>こんな表示形式の設定もあります！</p> <p>テンキーで片手操作で入力したいけど、「参加・不参加」などと文字で表示したい！って時に使えるかもです！</p> <p>※あくまで表示形式なので、実体は数字です。そのため、SUM関数で合計人数の計算もできます。</p> <p>【設定値】 [=1]"参加";[=0]"不参加"</p>	
38	★★★	<p>「取り消す」と「直前の動作を繰り返す」のショートカットキーは同じです！</p> <p>ノートPCなどでファンクションキーが使いにくいときに、「Ctrl + Y」も覚えておくといいかもです！</p>	
39	★★★★	<p>曜日を「2023/1/1(日)」と直接入力している方！ 表示形式で設定することで、自動で表示できます☺</p> <p>表示形式の"aaa"が曜日を意味します！</p> <p>ちなみに aaa：月 aaaa：月曜日 ddd：Mon dddd：Monday です！</p>	

No	重要度	投稿内容	画像
40	★★★★	<p>日付が変な数字になってしまった☹</p> <p>その原因は表示形式かもです！ Excelの日付は、基本1900/1/1からの通し番号（シリアル値）で管理されています！</p> <p>※シリアル値で管理した方が、計算する上で都合が良いからです。</p>	
41	★★★☆☆	<p>『直近1週間をリスト表示』</p> <p>直近1週間を数式で求め、その表を参照したリストを作ります！</p> <p>データの入力規則で設定する際に、エラーを表示しない設定にしておくと、過去の入力値でも警告が表示されることがなく値が保持されます☺</p>	
42	★★★☆☆	<p>複雑な条件は必ず『図で表現』する！</p> <p>自分では理解しているつもりでも、相手には伝わらないことがあります。</p> <p>また、伝える際に、条件が漏れることがあります。</p> <p>図にすることで、条件を漏れなく伝えることができます☺</p>	
43	★★★★	<p>『再利用できるスケジュール』</p> <p>先頭のセルを変更するだけで後は数式で計算されるようにすると便利です☺</p> <p>ベタ打ちだと修正するのが大変です☹</p>	
44	★★★☆☆	<p>Excelはローンの支払額の計算も簡単にできます！</p> <p>他にも 元金分の返済額の計算はPPMT関数、 利息分の返済額の計算はIPMT関数が使えます！</p>	

No	重要度	投稿内容	画像																
45	★★☆	<p>英字を統一する！</p> <p>統一されていない単語は分かりにくいです☹                      そんな時、この3つの関数の存在を知っていると便利です！</p>																	
46	★★★	<p>『Excelのエラーの種類』</p> <p>各エラーの意味を理解していると、原因が見つけやすくなります☺</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>エラー表記</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>#REF!</td> <td>セルが参照できない ※参照先を削除した場合など</td> </tr> <tr> <td>#VALUE!</td> <td>数式に問題がある</td> </tr> <tr> <td>#DIV/0!</td> <td>0で割っている ※無限大になるため表示できない</td> </tr> <tr> <td>#NAME?</td> <td>定義されていない関数や名前が入力されている</td> </tr> <tr> <td>#N/A</td> <td>値が存在しない ※VLOOKUPで見つからない場合など</td> </tr> <tr> <td>#スピル!</td> <td>スピルの結果が表示できない場合 ※拡張範囲に値が存在する場合など</td> </tr> <tr> <td>#####</td> <td>セルの幅が狭くて日付や時間が表示できない 日時を表すシリアル値がマイナスの場合</td> </tr> </tbody> </table>	エラー表記	意味	#REF!	セルが参照できない ※参照先を削除した場合など	#VALUE!	数式に問題がある	#DIV/0!	0で割っている ※無限大になるため表示できない	#NAME?	定義されていない関数や名前が入力されている	#N/A	値が存在しない ※VLOOKUPで見つからない場合など	#スピル!	スピルの結果が表示できない場合 ※拡張範囲に値が存在する場合など	#####	セルの幅が狭くて日付や時間が表示できない 日時を表すシリアル値がマイナスの場合
エラー表記	意味																		
#REF!	セルが参照できない ※参照先を削除した場合など																		
#VALUE!	数式に問題がある																		
#DIV/0!	0で割っている ※無限大になるため表示できない																		
#NAME?	定義されていない関数や名前が入力されている																		
#N/A	値が存在しない ※VLOOKUPで見つからない場合など																		
#スピル!	スピルの結果が表示できない場合 ※拡張範囲に値が存在する場合など																		
#####	セルの幅が狭くて日付や時間が表示できない 日時を表すシリアル値がマイナスの場合																		
47	★★☆	<p>意外と知られていなかったりしますが、                      「+*/」の四則演算の他に「^」でべき乗を求められます！</p>																	
48	★★★	<p>『絶対参照・相対参照・複合参照』</p> <p>参照の違いを理解すると、数式が入っているセルをコピーした時に理想通りに反映させることができます！</p> <p>※「\$」はF4キーで入力ができ、「\$」が付いている情報に関してのみコピー時に固定されます。</p>																	
49	★☆☆	<p>実は『ステータスバー』が色々教えてくれています！                      画像は「コピー」と「切り取り」の違いです☺</p>																	



No	重要度	投稿内容	画像
50	★★☆	<p>『N日後(営業日)の求め方』</p> <p>WORKDAY.INTL関数を使うことで、週末や休日などを自由に設定して求めることができます！</p> <p>似た関数でWORKDAY関数がありますが、この関数の場合は、週末が土日のみになってしまいます🐼</p>	
51	★★☆	<p>『グラフの使い分け』</p> <p>あくまで一例です！</p> <p>グラフを選択するときは、色んなグラフで比較して「伝えたい値が一番強調されるもの」を探すといいかもです☺</p>	
52	★★☆	<p>『グラフの見せ方』</p> <p>大差がないけど自社を魅力的にしたい場合、最小値と最大値を調整するといいです☺</p> <p>プレゼンなどは「見せ方」によって評価が大きく変わります！</p>	
53	★★☆	<p>『文字の抽出』</p> <p>・特定の文字を基準に前半部分を抽出する場合 数式の場合はFIND関数とLEFT関数の組み合わせ ※後半の場合はRIGHT関数の組み合わせ</p> <p>直接入力の場合は、「フラッシュフィル」が便利です！</p>	
54	★★★	<p>『曜日の表示方法』</p> <p>曜日と日付を別々のセルで管理する場合は「TEXT関数」を使います！</p> <p>同じセルで管理する場合は、「表示形式」を使います！ ※間違っても"2022/1/1(土)"などと直接入力してはいけません。←日付の集計ができなくなります</p> <p>【表示形式の設定値】 yyyy/m/d(aaa)</p>	

No	重要度	投稿内容	画像
55	★★☆	『スパークライン』 場所を取らない小さなグラフを作成できます！ ※小さくても直感的で分かりやすいのでおすすめです☺	
56	★★☆	スペースがあつたりなかったりでVLOOKUPが… そんな時は、一旦スペースを削除すると検索が容易になります！ SUBSTITUTE関数で全角スペースと半角スペースを削除します！（正確にはスペースを無に置換）	
57	★★☆	『土日休日を除いた翌月5日を求める』 方法の1つとして参考になれば幸いです☺ DATE関数とWORKDAY.INTL関数の組み合わせです！	
58	★★☆	『グラフを見やすくする』 必要に応じて、凡例に消してデータラベルに系列名を表示させるといいかもです！	
59	★★☆	『均等割り付け+インデント』 印刷専用の資料などであれば空白で調整しても問題ないのですが、集計用の表や他にも参照する値の場合は、「均等割り付け」を使うといいです！ なんならスペースで調整するより綺麗に配置できます☺	

No	重要度	投稿内容	画像
60	★★★	<p>『スピルは感動的な機能』</p> <p>「値を上詰め」を実現するのに、以前は配列数式を駆使して長い式を作る必要がありました☹</p> <p>それに比べ、最新のExcelではスピルを生かした関数「FILTER」を1つのセルに記述するだけで実現できます☺</p>	
61	★★★	<p>『XLOOKUPが今後主流になる理由』</p> <p>今までは、VLOOKUPとINDEX+MATCHを使い分けたり、エラー対策でIFERRORと組み合わせる必要がありました。</p> <p>しかし、最新のXLOOKUPでは、これ1つだけで実現可能です☺</p>	
62	★★☆	<p>進捗率などにはデータバーを設定すると、より分かりやすくなります☺</p> <p>報告資料などでは、ぜひご活用を！</p>	
63	★★☆	<p>セルを結合しなくても書式設定で結合のように表示できます！</p> <p>「セルの書式設定」→「配置」→「文字の配置/横配置」→「選択範囲内で中央」</p> <p>ただ、集計などに影響しない場合は、結合する方が分かりやすくして個人的には好きです☺</p>	

No	重要度	投稿内容	画像
64	★★★☆☆	<p>『テーブルの設定』</p> <p>テーブルにしたいけど、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィルターがいない…</li> <li>・縞模様が嫌だ…</li> </ul> <p>そんな時は「テーブルデザイン」タブで細かな表示設定ができます！</p>	
65	★★★☆☆	<p>『データの入力規則』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エラーメッセージのスタイルの違い</li> </ul> <p>「停止」 入力を禁止する</p> <p>「注意」 警告して修正をすすめる</p> <p>「情報」 修正をすすめないけど警告のみ表示する</p>	
66	★★★★	<p>別々の年月日や時分秒から『シリアル値を取得』する関数！</p> <p>別々のセルに年月日がある場合、翌日などを求めるのが難しいがシリアル値に戻すことで簡単に求められます☺</p> <p>例えば、</p> <p>「=DATE(B4,C4,D4)+1」</p> <p>で</p> <p>「2022/12/1」</p> <p>を求められます！</p>	
67	★★★★	<p>日付や時刻から「特定の値のみを抽出」する関数！</p> <p>※例では、「2022/11/30 15:30:45」のような日時から抽出していますが、「2022/11/30」のような日付のみのセルや「15:30」のような時刻のみのセルからでも同様に抽出できます☺</p>	



No	重要度	投稿内容	画像																																																												
68	★★☆	<p>文字の数字が混ざっている☹</p> <p>そんなときにこの手順を覚えておくと便利です☺</p>	<p>文字列と数字</p> <p>① 何もないセルをコピー</p> <p>② 修正したい範囲を選択し右クリック → 「形式を選択して貼り付け」を選択</p> <p>③ 「加算」を選択してOKで貼り付け</p> <p>数字</p>																																																												
69	★★☆	<p>同じシート内に複数のフィルターを作成する！</p> <p>→テーブルにすることで実現できます☺</p> <p>「並べ替え」は問題ございませんが、「絞り込み」は行ごと非表示になってしまうため、表を横ではなく縦に並べる工夫が必要です！</p>																																																													
70	★★★	<p>「見やすい表」と「管理する表」は別！</p> <p>「見やすい表」のみを作ると、見やすさ重視でセル結合などがあると集計が困難に…</p> <p>理想は、「管理する表」を作成し、その表を元に別シートに数式などで「見やすい表」を作成する☺</p>	<p>見やすい表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ID</th> <th>カテゴリー</th> <th>科目</th> <th>項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1</td> <td rowspan="3">A</td> <td>a1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>b1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>c1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2</td> <td rowspan="3">B</td> <td>a2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>b2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>c2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>管理する表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">カテゴリー管理</th> <th colspan="3">科目管理</th> </tr> <tr> <th>ID</th> <th>カテゴリー</th> <th>カテゴリーID</th> <th>科目</th> <th>項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>A</td> <td>1</td> <td>a1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>A</td> <td>1</td> <td>b1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>A</td> <td>1</td> <td>c1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>B</td> <td>2</td> <td>a2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>B</td> <td>2</td> <td>b2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>B</td> <td>2</td> <td>c2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	ID	カテゴリー	科目	項目	1	A	a1	1	b1	2	c1	3	2	B	a2	1	b2	2	c2	3	カテゴリー管理		科目管理			ID	カテゴリー	カテゴリーID	科目	項目	1	A	1	a1	1	1	A	1	b1	2	1	A	1	c1	3	2	B	2	a2	1	2	B	2	b2	2	2	B	2	c2	3
ID	カテゴリー	科目	項目																																																												
1	A	a1	1																																																												
		b1	2																																																												
		c1	3																																																												
2	B	a2	1																																																												
		b2	2																																																												
		c2	3																																																												
カテゴリー管理		科目管理																																																													
ID	カテゴリー	カテゴリーID	科目	項目																																																											
1	A	1	a1	1																																																											
1	A	1	b1	2																																																											
1	A	1	c1	3																																																											
2	B	2	a2	1																																																											
2	B	2	b2	2																																																											
2	B	2	c2	3																																																											
71	★☆☆	<p>『文字の比較』</p> <p>「=」で比較すると大文字小文字が判定されません。 「EXACT関数」の場合は判定されます。</p> <p>数字の「1」、文字の「1」、全角の「1」などによる違いもあります！</p> <p>両方の強みを生かして比較したい時は、 「=AND(B4=C4,EXACT(B4,C4))」 です☺</p>	<p>比較結果</p> <p>↓ =B4=C4    ↓ =EXACT(B4,C4)</p> <table border="1"> <tr> <td>Excel</td> <td>EXCEL</td> <td>TRUE</td> <td>FALSE</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>FALSE</td> <td>TRUE</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>FALSE</td> <td>FALSE</td> </tr> </table>	Excel	EXCEL	TRUE	FALSE	1	1	FALSE	TRUE	1	1	FALSE	FALSE																																																
Excel	EXCEL	TRUE	FALSE																																																												
1	1	FALSE	TRUE																																																												
1	1	FALSE	FALSE																																																												
72	★★☆	<p>フィルターの絞り込みを瞬時にリセット！</p> <p>『Alt→A→C』</p> <p>よく使う場合は覚えるといいかもです☺</p>	<p>Alt→A→C</p>																																																												

No	重要度	投稿内容	画像
73	☆☆☆	<p>空白を埋める方法！</p> <p>最新のExcelはこれだけで埋めることができます☺ ※スピルという機能になります！</p> <p>=FILTER(B:B,B:B&lt;&gt;"") ※B列に関して「値が空白でないセル」を抽出しています</p>	
74	☆☆☆	<p>ここのセル… 値を入力して確定すると動作が重くなるな…</p> <p>そんな時、 9割の原因が多くの数式に参照されているセルだからです。 特にVLOOKUPなどの検索系の関数👉</p> <p>試しに「参照先のトレース」をすると、原因と対策が分かるかもです！</p>	
75	☆☆☆	<p>評価シートとかで使えそうです！ 入力していて楽しくなるシートづくりも 時には大切かもですね☺</p> <p>=REPT("★",B3) &amp; REPT("☆☆",5-B3)</p>	
76	★★★★	<p>Ctrl + D：選択範囲の一番上の値を下へコピー Ctrl + R：選択範囲の一番左の値を右へコピー</p> <p>数式のコピーにも使えます！ 範囲選択している場合は一番上(左)の値が反映されます☺</p>	
77	★★★★	<p>『VLOOKUPで列番号を数えない方法』</p> <p>MATCH関数で対象項目の列番号を取得できます！ →列の挿入や削除にも対応できます。</p> <p>1つの方法としてぜひ☺</p>	
78	☆☆☆	<p>SUM関数は『数字』のみを合計します。 そのため、データが追加されるかもしれない表は 「=SUM(B:B)」のようにすることででも対応できます☺</p>	

No	重要度	投稿内容	画像
79	★★☆☆	<p>『小さく表示されるオプションを開くショートカット』</p> <p>①「Alt + アプリケーションキー」で表示                  ②「カーソルキー(↑↓←→)」で選択                  ③「Enter」で確定</p>	<p>このオプションは「Alt + アプリケーションキー」で開けます</p>
80	★★★★	<p>『プレゼン時の注意点』</p> <p>数値データは信憑性を高める上では必要ですが、数値データのみだと直感的に分かりにくいケースが多いです。</p> <p>そのため、数値データだけではなく、直感的に分かりやすいグラフを用いると良いです！</p>	
81	★★★★	<p>『IFS関数』</p> <p>引数の「論理式」とは「TRUE」もしくは「FALSE」になる式であれば問題ないです！</p> <p>なので、IFS関数でその他を表したい場合は、「TRUE」すれば、全てを満たすことになり表現できます！</p> <p>=IFS(A1&gt;=80,"A",A1&gt;=60,"B",TRUE,"C")</p>	
82	★★☆☆	<p>『表示形式で評価[★★★★]を表現』</p> <p>実は「表示形式」で条件式を作ることができます！</p>	<p>表示形式で評価値を★にする</p>
83	★★☆☆	<p>『値を保持して単位を「千円」にする』</p> <p>表示形式を「#,##0,」にするだけです！                  →単位をつけたい場合は「#,##0,千円」</p> <p>ちなみに100万円単位は「#,##0,,」でできます！                  頭の「,」の数で表示桁数が変わります☺</p>	<p>①対象範囲の選択                  ②「Ctrl+1」で書式設定を開く                  ③表示形式を「#,##0,千円」にする                  ※単位が不要な場合は「#,##0,」でOK</p>

新規

No	重要度	投稿内容	画像
新規 84	★★☆	<p>『営業開始日を年月から求める』</p> <p>WROKDAY.INTL関数でN日後の営業日を求められるので、EOMONTH関数で前月末の1日後として営業開始日を求める！</p> <p>※0日後を求められないので、前月末に1を加えています</p>	
新規 85	★★☆	<p>『営業終了日を年月から求める』</p> <p>WORKDAY.INTL関数でN日後の営業を求めることができるので、DATE関数で翌月1日を求め、その日から-1日後の営業を求めることで営業終了日が求まる！</p> <p>組み合わせ次第で何とかかなりますね☺</p>	
新規 86	★★☆	<p>Excelの隠し関数『DATEDIF』</p> <p>この関数は、Lotus 1-2-3との互換性のために用意された関数で、候補には表示されない隠し関数になります！</p> <p>→年齢を求める時などに結構便利な関数です☺</p>	
新規 87	★☆☆	<p>『N週目の指定の曜日の日付』</p> <p>WORKDAY.INTL関数でN日後の営業日を求めることができます！</p> <p>この関数を用いて指定の曜日以外を定休日し、前月末からN日後の営業日を求めることで計算可能です☺</p>	



No	重要度	投稿内容	画像
88	★★★	<p>『ランダムに日付を抽出する方法』</p> <p>RANDBETWEEN関数は、シリアル値でなくて日付の文字列でも出来るみたいです！</p>	
89	★★★	<p>『え、改行されてたの？』 という見落とし対策にどうですか！</p> <p>CHAR(10)は改行を意味します。 改行を削除して、削除前の値と比較して異なる場合に色付けしています！</p>	
90	★★★★	<p>『リストボックスの活用』</p> <p>OFFSET関数との相性もいいですね！</p> <p>選択行のみをOFFSET関数で抽出し、その抽出した表をもとにグラフを作成！</p> <p>リストボックスの選択でグラフを切り替えられます😊</p>	
91	★★★★	<p>『XLOOKUP関数を高速化』</p> <p>検索項目が昇順（降順）の場合は、バイナリ検索を活用すると平均的に高速で計算できます！ ※データによって速度は異なります</p> <p>画像の例の場合、 先頭から検索だと4回比較する必要がありますが、バイナリ検索だと2回です！</p>	<p>バイナリ検索（二分探索）</p> <p>60を検索するとき</p> <p>①真ん中のデータ[40]と比較 →40より大きいので、データ減らす</p> <p>②真ん中のデータ[60]と比較 ※偶数の場合は、手前の値 →60なので、検索終了</p>

No	重要度	投稿内容	画像																									
92	★★☆	『住所から都道府県のみを抽出する方法』 都道府県は基本3文字で、例外で4文字があります。 その4文字は、「都・道・府」ではないのです。 そのため、4文字目は"県"の場合は左4文字を抽出という単純な条件で実現できます！	<p>左から4文字目が"県"の場合、左4文字抽出、それ以外、左3文字抽出</p> <p>=IF(MID(B4,4,1)=\"県\",LEFT(B4,4),LEFT(B4,3)) ↓</p> <table border="1"> <tr><td>福井県敦賀市泉ヶ丘町4-4-19</td><td>福井県</td></tr> <tr><td>静岡県袋井市木原2-8</td><td>静岡県</td></tr> <tr><td>京都府京都市右京区梅ヶ畑菅江辺町4-7-7</td><td>京都府</td></tr> <tr><td>茨城県ひたちなか市小谷金1-10</td><td>茨城県</td></tr> <tr><td>兵庫県姫路市家島町坊勢1-13-1</td><td>兵庫県</td></tr> <tr><td>山梨県南巨摩郡身延町清沢4-1</td><td>山梨県</td></tr> <tr><td>埼玉県東松山市殿山町1-7-20</td><td>埼玉県</td></tr> <tr><td>大阪府東大阪市横沼町1-10-5</td><td>大阪府</td></tr> </table>	福井県敦賀市泉ヶ丘町4-4-19	福井県	静岡県袋井市木原2-8	静岡県	京都府京都市右京区梅ヶ畑菅江辺町4-7-7	京都府	茨城県ひたちなか市小谷金1-10	茨城県	兵庫県姫路市家島町坊勢1-13-1	兵庫県	山梨県南巨摩郡身延町清沢4-1	山梨県	埼玉県東松山市殿山町1-7-20	埼玉県	大阪府東大阪市横沼町1-10-5	大阪府									
福井県敦賀市泉ヶ丘町4-4-19	福井県																											
静岡県袋井市木原2-8	静岡県																											
京都府京都市右京区梅ヶ畑菅江辺町4-7-7	京都府																											
茨城県ひたちなか市小谷金1-10	茨城県																											
兵庫県姫路市家島町坊勢1-13-1	兵庫県																											
山梨県南巨摩郡身延町清沢4-1	山梨県																											
埼玉県東松山市殿山町1-7-20	埼玉県																											
大阪府東大阪市横沼町1-10-5	大阪府																											
93	★★☆	フリガナを抽出する関数は『PHONETIC関数』 入力した時の値が表示されるので、外部からコピペした値などにはフリガナがない また、フリガナが違う そんな時は、 Alt+Shift+ ↑ で簡単にフリガナ自動入力と修正ができます！	<p>←=PHONETIC(B2)</p> <p>Alt + Shift + ↑</p> <p>ヤマダ ユウキ 山田祐樹</p>																									
94	★★☆	『クロス表から値を抽出！』 INDEX関数は、選択範囲の行と列を指定することで値を抽出します。 MATCH関数は、対象の文字が指定の範囲の先頭から何番目に存在するのかを求めます。 これらを組み合わせることで、実現可能です☺	<p>到着</p> <table border="1"> <tr><td></td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>出発 A</td><td>100</td><td>200</td><td>300</td><td>400</td></tr> <tr><td>B</td><td>200</td><td>400</td><td>600</td><td>800</td></tr> <tr><td>C</td><td>300</td><td>600</td><td>900</td><td>1200</td></tr> <tr><td>D</td><td>400</td><td>800</td><td>1200</td><td>1600</td></tr> </table> <p>出発 A</p> <p>到着 B</p> <p>料金 200</p> <p>↑=INDEX(D4:G7,MATCH(C9,C4:C7,0),MATCH(C10,D3:G3,0))</p>		A	B	C	D	出発 A	100	200	300	400	B	200	400	600	800	C	300	600	900	1200	D	400	800	1200	1600
	A	B	C	D																								
出発 A	100	200	300	400																								
B	200	400	600	800																								
C	300	600	900	1200																								
D	400	800	1200	1600																								
95	★☆☆	『XLOOKUP関数はワイルドカードに対応！』 →引数の一致モードの「2」がワイルドカードでの検索です 商品IDに商品名が含まれているけど、IDのみで検索したい そんな時に、簡単に抽出できます☺	<table border="1"> <tr><td>商品</td><td>値段</td></tr> <tr><td>A0001_りんご</td><td>100</td></tr> <tr><td>A0002_みかん</td><td>200</td></tr> </table> <p>商品ID</p> <p>値段</p> <p>A0001</p> <p>↑ (一致モード:2)</p> <p>=XLOOKUP(B7 &amp; \"_*\",B3:B4,C3:C4,\"\",2,1)</p>	商品	値段	A0001_りんご	100	A0002_みかん	200																			
商品	値段																											
A0001_りんご	100																											
A0002_みかん	200																											

No	重要度	投稿内容	画像																																																																																																																																																																																
96	★★★☆☆	<p>『テーブルを使わずに範囲を自動で拡張する方法』</p> <p>VLOOKUP関数などの集計で、自動で選択範囲を拡張したい時に便利です！</p> <p>※OFFSETの幅を1にすれば、自動拡張するドロップダウンリストも名前呼び出せます☺</p>	<p>自動で拡張する範囲 (テーブルを使わない場合)</p> <p>①名前の定義 ②名前を使って参照</p> <p>自動で範囲が拡張される！</p> <p>=OFFSET(Sheet1!\$B\$3,0,0,COUNTA(Sheet1!\$B:\$B)-1,2) ※2枚目</p>																																																																																																																																																																																
97	★★★☆☆	<p>『テーブルを使わずに範囲を自動で拡張する方法2』</p> <p>OFFSET関数の詳細です！</p>	<p>=OFFSET(Sheet1!\$B\$3,0,0,COUNTA(Sheet1!\$B:\$B)-1,2)</p> <p>▶OFFSET関数は基準から相対的に移動した範囲を取得</p> <p>第1引数[基準]: Sheet1!\$B\$3          第2引数[行数]: 0 (行は移動しない)          第3引数[列数]: 0 (列は移動しない)          第4引数[高さ]: COUNTA(Sheet1!\$B:\$B)-1          (B列の文字の入力されているセルの数 - 1 / 要素の数)          第5引数[幅]: 2 (2列取得)</p>																																																																																																																																																																																
98	★★★★	<p>『COUNTIF関数の条件式』</p> <p>条件式の作成方法を覚えるだけでも集計がかなり楽になります！</p> <p>また これらの条件式は、SUMIFなどでも同様に扱えます☺</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> <th>F</th> <th>G</th> <th>H</th> <th>I</th> <th>J</th> <th>K</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>氏名</td><td>性別</td><td>生年月日</td><td>年齢</td><td></td><td>▼男性</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>石田武司</td><td>男</td><td>1992/1/12</td><td>31</td><td></td><td>4 ← =COUNTIF(C3:C12,"男")</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>千葉春奈</td><td>女</td><td>1996/9/25</td><td>26</td><td></td><td>▼31歳</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>谷川年紀</td><td>男</td><td>1983/6/9</td><td>39</td><td></td><td>2 ← =COUNTIF(E3:E12,31)</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>大内恋雪</td><td>女</td><td>1998/7/19</td><td>24</td><td></td><td>▼31歳以上</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>高松若葉</td><td>女</td><td>1964/5/13</td><td>58</td><td></td><td>7 ← =COUNTIF(E3:E12,"&gt;=31")</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>堀田舞桜</td><td>女</td><td>1963/3/2</td><td>59</td><td></td><td>▼名前に"田"を含む</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>岡田琴</td><td>女</td><td>1978/11/30</td><td>44</td><td></td><td>3 ← =COUNTIF(B3:B12,"*田**")</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>溝口栄伸</td><td>男</td><td>1994/7/27</td><td>28</td><td></td><td>▼名前が"田〇〇"で終わる</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>山下凛夏子</td><td>女</td><td>1991/8/26</td><td>31</td><td></td><td>2 ← =COUNTIF(B3:B12,"*田??")</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>野間真一</td><td>男</td><td>1970/4/28</td><td>52</td><td></td><td>▼生年月日が1990/1/1以降</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5 ← =COUNTIF(D3:D12,"&gt;=1990/1/1")</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	1											2	氏名	性別	生年月日	年齢		▼男性					3	石田武司	男	1992/1/12	31		4 ← =COUNTIF(C3:C12,"男")					4	千葉春奈	女	1996/9/25	26		▼31歳					5	谷川年紀	男	1983/6/9	39		2 ← =COUNTIF(E3:E12,31)					6	大内恋雪	女	1998/7/19	24		▼31歳以上					7	高松若葉	女	1964/5/13	58		7 ← =COUNTIF(E3:E12,">=31")					8	堀田舞桜	女	1963/3/2	59		▼名前に"田"を含む					9	岡田琴	女	1978/11/30	44		3 ← =COUNTIF(B3:B12,"*田**")					10	溝口栄伸	男	1994/7/27	28		▼名前が"田〇〇"で終わる					11	山下凛夏子	女	1991/8/26	31		2 ← =COUNTIF(B3:B12,"*田??")					12	野間真一	男	1970/4/28	52		▼生年月日が1990/1/1以降					13						5 ← =COUNTIF(D3:D12,">=1990/1/1")					14											15										
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K																																																																																																																																																																									
1																																																																																																																																																																																			
2	氏名	性別	生年月日	年齢		▼男性																																																																																																																																																																													
3	石田武司	男	1992/1/12	31		4 ← =COUNTIF(C3:C12,"男")																																																																																																																																																																													
4	千葉春奈	女	1996/9/25	26		▼31歳																																																																																																																																																																													
5	谷川年紀	男	1983/6/9	39		2 ← =COUNTIF(E3:E12,31)																																																																																																																																																																													
6	大内恋雪	女	1998/7/19	24		▼31歳以上																																																																																																																																																																													
7	高松若葉	女	1964/5/13	58		7 ← =COUNTIF(E3:E12,">=31")																																																																																																																																																																													
8	堀田舞桜	女	1963/3/2	59		▼名前に"田"を含む																																																																																																																																																																													
9	岡田琴	女	1978/11/30	44		3 ← =COUNTIF(B3:B12,"*田**")																																																																																																																																																																													
10	溝口栄伸	男	1994/7/27	28		▼名前が"田〇〇"で終わる																																																																																																																																																																													
11	山下凛夏子	女	1991/8/26	31		2 ← =COUNTIF(B3:B12,"*田??")																																																																																																																																																																													
12	野間真一	男	1970/4/28	52		▼生年月日が1990/1/1以降																																																																																																																																																																													
13						5 ← =COUNTIF(D3:D12,">=1990/1/1")																																																																																																																																																																													
14																																																																																																																																																																																			
15																																																																																																																																																																																			
99	★★★☆☆	<p>『日付から四半期単位を求める』</p> <p>CHOOSE関数は、第1引数の値をもとに第2引数以降の値を抽出します。</p> <p>第2引数以降が値1,値2,...と続きます。</p> <p>第1引数にMONTH関数で「月」を取得し、第2引数以降に「1,1,1,2,...」とすることで四半期を取得できます！</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> <th>F</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td>日付</td><td>四半期</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td>2023/1/20</td><td>第1四半期</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td>2023/3/10</td><td>第1四半期</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td>2023/5/10</td><td>第2四半期</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td>2023/8/3</td><td>第3四半期</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td>2023/10/15</td><td>第4四半期</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td>2023/11/3</td><td>第4四半期</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>= "第"&amp;CHOOSE(MONTH(B8),1,1,1,2,2,2,3,3,3,4,4,4)&amp;"四半期"</p>	A	B	C	D	E	F	1						2		日付	四半期			3		2023/1/20	第1四半期			4		2023/3/10	第1四半期			5		2023/5/10	第2四半期			6		2023/8/3	第3四半期			7		2023/10/15	第4四半期			8		2023/11/3	第4四半期			9						10						11																																																																																																													
A	B	C	D	E	F																																																																																																																																																																														
1																																																																																																																																																																																			
2		日付	四半期																																																																																																																																																																																
3		2023/1/20	第1四半期																																																																																																																																																																																
4		2023/3/10	第1四半期																																																																																																																																																																																
5		2023/5/10	第2四半期																																																																																																																																																																																
6		2023/8/3	第3四半期																																																																																																																																																																																
7		2023/10/15	第4四半期																																																																																																																																																																																
8		2023/11/3	第4四半期																																																																																																																																																																																
9																																																																																																																																																																																			
10																																																																																																																																																																																			
11																																																																																																																																																																																			

No	重要度	投稿内容	画像
100	★★★☆☆	<p>『値の発生頻度を集計する関数』 →FREQUENCY関数</p> <p>スピルが使えるようになって、かなり便利になりました☺</p>	
101	★★★☆☆	<p>『FILTER関数で複数条件』</p> <p>FILTER関数の条件ではAND関数やOR関数が使えません。なので、ANDの場合は「*」、ORの場合は「+」で計算します！</p> <p>※Googleスプレッドシートの場合は、引数がExcelとは異なり「条件2,条件3,...」が用意されています</p>	
102	★★★☆☆	<p>『FILTER関数で離れている列を抽出』</p> <p>FILTER関数は、横向きにも対応しているため、その仕組みを活用できます！</p> <p>表示列を1として{1,0,1,0}などと列数分、条件に指定！ →FILTER関数とFILTER関数を組み合わせると更に便利です☺</p>	
103	★★★☆☆	<p>『複数列で表を並べ替えるには「SORTBY関数』』</p> <p>SORT関数でも並べ替えることができますが、SORTBY関数を使った方が簡単に並べ替えれます！</p> <p>※SORT関数でも配列で指定することで並べ替えることができます =SORT(B3:E12,{3,4},{1,1},FALSE)</p>	



No	重要度	投稿内容	画像
104	★★★☆☆	<p>『項目を好みの順番に表示する数式』</p> <p>SORTBY関数の仕組みを応用することで、好みの順番に簡単に表示できます😊</p>	<p><b>項目を好みの順番に表示する</b></p> <p>SORTBY関数は横向きの並べ替えにも対応しています → 横向きの場合は、1行N列を指定します</p> <p>1行N列であれば良いので、{1,3,2,4}などと直接指定できます！</p>
105	★★★☆☆	<p>集計表に関して、 「未登録分の項目は非表示にしたいけど、数式を修正するのは…」</p> <p>という方が何人かいました！</p> <p>そんな時は条件付き書式です😊</p>	<p><b>期間外のデータを非表示にする</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>非表示対象のセルを上から選択し、条件付き書式の「新しいルール」を開く</li> <li>「数式を使用して…」で「=E3&gt;MAX(\$B:\$B)」と入力する ※Eは年月の列、3は先頭行番号、Bは日付の列 → 「対象の年月が元の表の最大値よりも先の日程の場合」という条件式</li> <li>条件付き書式の書式設定で、表示形式を「;;;」にする</li> </ol>
106	★☆☆☆☆	<p>『T関数』</p> <p>→ 文字列の場合は文字列を返す</p> <p>他の表計算ソフトとの互換性を維持するために用意されているものですが、 「文字列なのか数値なのか分からない…」という場合に試してみるのもいいかもです！</p>	<p><b>T関数</b></p>
107	★★★★	<p>数式が長くて分かりにくい… そんな時は、ぜひ改行を！</p> <p>引数や条件単位で改行すると見やすくなります😊</p>	<p><b>数式も「Alt+Enter」で改行できます！</b></p>

No	重要度	投稿内容	画像
108	★★★★	<p>数式を下までコピーするのが大変🐼 (目的の行数より行きすぎたい、足りなかったり…)</p> <p>そんな時は、名前ボックスとショートカットキーを使うと簡単にコピーできます</p>	<p><b>数式を下へ一気にコピーする</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>名前ボックスにA300と入力してカーソルを移動</li> <li>「Ctrl+Shift+↓」で数式の先頭まで選択</li> <li>「Ctrl+D」で一番上の数式を下までコピー</li> </ol>
109	★★★★	<p>オートフィルで表の書式が崩れてしまう… その際に、1から罫線などを再設定している方へ!</p> <p>右下のオートフィルオプションをクリックすると、書式のコピーを取り消すことができます☺</p>	<p>書式が崩れる…</p> <p>書式が崩れない!</p>
110	★★★☆☆	<p>複数の範囲をカンマ区切りで入力するときは、Ctrlキーを押しながら選択で一発で入力できます!</p>	<p><b>複数の範囲選択の効率化</b></p> <p>引数のカンマを直接入力している場合</p> <p>Ctrlキー押しながら選択で一発で入力できます!</p>
111	★★★☆☆	<p>UNIQUE関数で、表のサイズを大きめに指定すると「0」が表示される…</p> <p>そんな時は、OFFSET関数との組み合わせがオススメです! OFFSET関数で可変長の範囲指定が可能です☺</p> <p>※FILTER関数などでも出来ませんが、B3:B1000など大きめに指定する必要が🐼</p>	<p><b>UNIQUE関数で0を非表示にする</b></p> <p>サイズを大きめに注意する必要がある</p> <p>サイズを大きめに注意する必要がある 0が表示される…</p> <p>おすすめ!</p>

No	重要度	投稿内容	画像
112	★★★☆☆	<p>スピルは『神』です！</p> <p>XLOOKUP関数でスピルを活用することで複数列抽出できます！</p> <p>→縦向きの場合、戻り範囲を複数列選択することで1つの式で抽出できます☺</p>	<p><b>XLOOKUP × スピル</b></p> <p>XLOOKUP(検索値, 検索範囲, 戻り範囲, [見つからない場合], [一致モード], [検索モード])</p> <p>社員番号 社員名 グループ A001 川原双葉 A A002 小川貞行 B A003 勝又謙二 A A004 小山好夫 B A005 河井雅典 C A006 島崎明雄 C</p>
113	★★★☆☆	<p>『シートの増減に対応した串刺し演算』</p> <p>こちらの方法で、瞬時に「串刺し演算」で集計できます！</p> <p>また、集計対象のシートを空のシートで囲むことにより、その間に挿入されたシートを自動で集計対象にすることができます☺</p>	<p><b>串刺し演算</b></p> <p>準備：集計用シート・空のシート「▶、◀」・各データシート</p> <p>① 集計シートの対象セルを全選択し、「=SUM()」と入力 ② 「▶」シートを選択 ③ 「◀」シートをShiftキーを押しながら選択 ④ 数式を入力したセルと同じ位置を選択し、「Ctrlキー + Enterキー」で確定</p>
114	★★★☆☆	<p>『セルの実態を確認する』</p> <p>「シリアル値だと思っていたけど、ただの日付だった…」</p> <p>このようなことは最初に気づきたいです。そんな時は、「Ctrl+Shift+@」です！セルの実態を表示してくれます☺</p>	<p><b>表示されている値の実態を確認</b></p> <p>Ctrl+Shift+@</p> <p>2023/1/1(日) → 44927</p> <p>=ROW() → 8</p>
115	★★★★	<p>『テーブル × VLOOKUP関数』</p> <p>データが追加された際も数式を修正する必要がないですし、抽出したい項目は、項目名から簡単に抽出できます！</p> <p>こちらではCOLUMNS関数を使って列番号を取得していますが、他にも色んな方法があります☺</p>	<p>ID 項目1 項目2 項目3 項目4 項目5 項目6 項目7</p> <p>a A1 A2 A3 A4 A5 A6 A7</p> <p>b B1 B2 B3 B4 B5 B6 B7</p> <p>c C1 C2 C3 C4 C5 C6 C7</p> <p>d D1 D2 D3 D4 D5 D6 D7</p> <p>ID 項目5 b B5</p> <p>↑ =VLOOKUP(B11,テーブル1,COLUMNS(テーブル1[[ID]:[項目5]]),FALSE)</p> <p>ここを 取得したい項目名に 変更するだけ</p>

No	重要度	投稿内容	画像																																										
116	★★★	『〇〇IF関数や〇〇IFS関数で使える条件式』  基本的に、 これらの組み合わせを覚えていれば応用が利きます！	<p>条件式(〇〇IF関数や〇〇IFS関数で使える条件)</p> <table border="1"> <tr> <td>"&gt;5"</td> <td>5より大きい</td> <td>"&lt;&gt;5"</td> <td>5ではない</td> <td>"&gt;"&amp;F3</td> <td>セルF3より大きい</td> </tr> <tr> <td>"&gt;=5"</td> <td>5以上</td> <td>"=5"</td> <td>5である("="省略可)</td> <td>F3&amp;"**"</td> <td>セルF3の文字で始まる</td> </tr> <tr> <td>"&lt;5"</td> <td>5より小さい</td> <td>"*田"</td> <td>田で始まる</td> <td>"**"&amp;F3&amp;"**"</td> <td>セルF3の文字を含む</td> </tr> <tr> <td>"&lt;=5"</td> <td>5以下</td> <td>"*田"</td> <td>田で終わる</td> <td>F3&amp;"????"</td> <td>セルF3の文字の後は4文字</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>"*田*"</td> <td>田を含む</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>"?東*"</td> <td>〇東で始まる</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>"東??"</td> <td>東〇である</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	">5"	5より大きい	"<>5"	5ではない	">"&F3	セルF3より大きい	">=5"	5以上	"=5"	5である("="省略可)	F3&"**"	セルF3の文字で始まる	"<5"	5より小さい	"*田"	田で始まる	"**"&F3&"**"	セルF3の文字を含む	"<=5"	5以下	"*田"	田で終わる	F3&"????"	セルF3の文字の後は4文字			"*田*"	田を含む					"?東*"	〇東で始まる					"東??"	東〇である		
">5"	5より大きい	"<>5"	5ではない	">"&F3	セルF3より大きい																																								
">=5"	5以上	"=5"	5である("="省略可)	F3&"**"	セルF3の文字で始まる																																								
"<5"	5より小さい	"*田"	田で始まる	"**"&F3&"**"	セルF3の文字を含む																																								
"<=5"	5以下	"*田"	田で終わる	F3&"????"	セルF3の文字の後は4文字																																								
		"*田*"	田を含む																																										
		"?東*"	〇東で始まる																																										
		"東??"	東〇である																																										
117	★★☆	『〇〇IFS関数でOR条件を求める方法』  残念ながら〇〇IFS関数はAND条件しか求めることができません そのため、それぞれを別々に取得して加算する必要があります☹	<p>COUNTIFS(D3:D12,"&gt;=20",D3:D12,"&lt;30") で20歳以上かつ30歳未満の人数  COUNTIFS(D3:D12,"&gt;=50",D3:D12,"&lt;60") で50歳以上かつ60歳未満の人数  それぞれの人数を加算することで集計</p> <p>年齢が20代もしくは50代の人数</p> <p>=COUNTIFS(D3:D12,"&gt;=20",D3:D12,"&lt;30")+COUNTIFS(D3:D12,"&gt;=50",D3:D12,"&lt;60')</p>																																										
118	★★☆	『色々な月単位で集計する方法』  もっと簡単な方法があるかもですが、 個人的には基本は①  年単位でシートを変更している場合は、年月の項目を月のみにして、②の方法かもです。  ③の方法をしている人は見たことがないかもです！	<p>色んな月単位集計</p> <p>① =SUMIFS(\$C\$3:\$C\$13,\$B\$3:\$B\$13,"&gt;="&amp;E3,\$B\$3:\$B\$13,"&lt;="&amp;EOMONTH(E3,0)) ② =SUMIF(MONTH(\$B\$3:\$B\$13)=MONTH(E4),\$C\$3:\$C\$13,0) ※スビル非対応の場合は配列数式 ③ =SUMFILTER(\$C\$3:\$C\$13,\$B\$3:\$B\$13&gt;=E5)*(\$B\$3:\$B\$13&lt;=EOMONTH(E5,0),0)</p>																																										
119	★★★	『[INDEX・MATCH]は意外と簡単！』  難しいと思われがちですが、 理屈を理解すると簡単です☺  新しい関数なども出てきていますが、環境によっては、まだまだ必要になる組み合わせです！	<p>INDEX・MATCHでの抽出方法</p> <p>=INDEX(B3:B6,MATCH(E4,C3:C6,0))</p> <p>抽出したい範囲の上から「MATCH関数の結果」番目の要素を抽出 (例: 上から2番目の12)</p>																																										



No	重要度	投稿内容	画像
120	★★★☆☆	<p>『オートフィルで「好みの連続データ」を入力！』</p> <p>[ファイル]→[オプション]で表示されるExcelオプションにて、連続データを登録することができます！</p> <p>登録画面では、直接入力して登録もできますが、範囲選択してインポートもできるので、個人的にはインポートがお勧めです！</p>	<p>オートフィルで好みの連続データ</p>
121	★★★☆☆	<p>SUM関数を使っている方へ！</p> <p>SUBTOTAL関数を使ってみませんか？</p> <p>SUBTOTAL関数は、11種類の集計関数のまとめた関数で、さらに+αの機能が付いています☺</p> <p>「小計用のセル」や「非表示のセル」の集計から除外したり…</p>	<p>なぜSUBTOTAL関数を覚えなさい！</p> <p>SUBTOTAL関数で求めた値はSUBTOTAL関数での集計時に除外されます！</p>
122	★★★☆☆	<p>『切り捨てはINT関数？それともROUNDDOWN関数？』</p> <p>正の整数で求める場合はどちらでもいいのですが、負の整数になると異なります！</p> <p>INT関数は、正しくは「切り下げ」になります☺</p>	<p>切り捨てはINT？ ROUNDDOWN？</p>
123	★☆☆☆☆	<p>コピーした値だからフリガナがない…</p> <p>実は、「Shift + Alt + ↑」で標準的な日本語の読みを自動入力することができます！</p>	<p>コピーした値にフリガナが表示されない！</p> <p>フリガナを自動で設定</p>


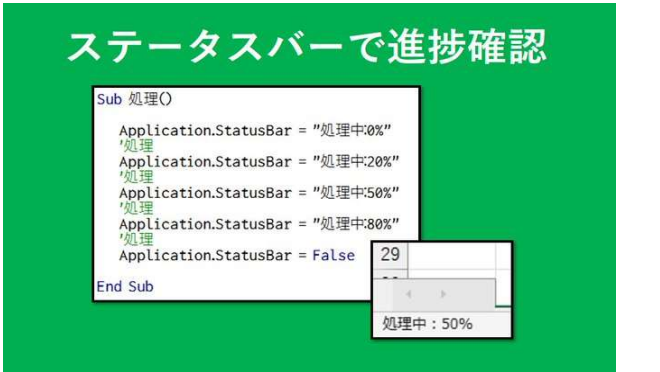
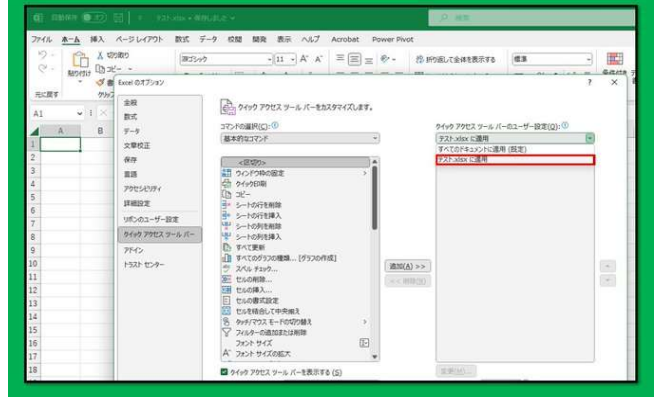

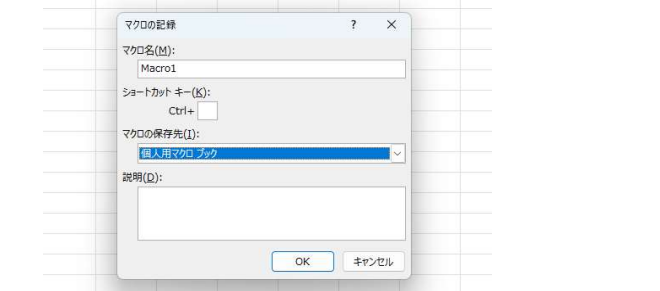
No	重要度	投稿内容	画像
124	★☆☆	<p>Excelの隠し関数 『DATESTRING関数』</p> <p>この関数は候補に表示されません🐼 シリアル値を和暦の文字列に変換する関数ですが、基本は表示形式で対応した方が都合がいいかもですね☺</p>	
125	★★★☆☆	<p>エラーによって合計がエラー🐼</p> <p>実はエラーを無視する『AGGREGATE関数』というものがあります！</p> <p>この関数は複雑ですが、SUM関数を含む19個の関数を扱えます！ また、エラー値や、特定の関数による値、非表示セルの値の除外などと、色んな機能あります！</p>	
126	★☆☆	<p>『使い道があまりない隠し関数』</p> <p>「NUMBERSTRING関数」</p> <p>この関数は候補には表示されません🐼</p> <p>特定の資料を作成する際に使えるかもですね☺ (使ったことはありませんが…)</p>	
127	★☆☆	<p>ドロップダウンリストについて、扱いやすさは「データの入力規則」ですが、見た目は「フォームコントロール」の方が好きですね🐼</p> <p>「フォームコントロール」で選択した値を扱う場合は、INDEX関数などを使うといいです！</p>	

No	重要度	投稿内容	画像															
新規 128	★★☆	円グラフを使う場合は、注目したい要素を円から切り離した方が分かりやすいですね！	<table border="1"> <thead> <tr> <th>支店</th> <th>売上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>	支店	売上	A	50	B	60	C	45	D	30	E	30			
支店	売上																	
A	50																	
B	60																	
C	45																	
D	30																	
E	30																	
新規 129	★☆☆	『平均を求める際に、文字列のデータも0として加えたい』  AVERAGE関数は数値データ(空白を除く)のみで求められます！  文字が入力されているセル全部を対象として平均を求める場合はAVERAGEA関数です☺	<table border="1"> <thead> <tr> <th>支店</th> <th>売上</th> <th>売上平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>100</td> <td>200 ← =AVERAGE(C3:C5)</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>改装中</td> <td>133.3333 ← =AVERAGEA(C3:C5)</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>300</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	支店	売上	売上平均	A	100	200 ← =AVERAGE(C3:C5)	B	改装中	133.3333 ← =AVERAGEA(C3:C5)	C	300				
支店	売上	売上平均																
A	100	200 ← =AVERAGE(C3:C5)																
B	改装中	133.3333 ← =AVERAGEA(C3:C5)																
C	300																	
新規 130	★★☆	『(365)新関数の凄さ！』  名前などを分割したいけど、区切り文字がごちゃごちゃ☹  そんな時は、まさかの{" "," " }のように複数設定できます☺  ついでにスピルを活用すれば、2つの式で簡単分割！	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>姓</th> <th>名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>田中 太郎</td> <td>田中</td> <td>太郎</td> </tr> <tr> <td>斎藤 健</td> <td>斎藤</td> <td>健</td> </tr> <tr> <td>石田 洋平</td> <td>石田</td> <td>洋平</td> </tr> <tr> <td>南 陽介</td> <td>南</td> <td>陽介</td> </tr> </tbody> </table>		姓	名	田中 太郎	田中	太郎	斎藤 健	斎藤	健	石田 洋平	石田	洋平	南 陽介	南	陽介
	姓	名																
田中 太郎	田中	太郎																
斎藤 健	斎藤	健																
石田 洋平	石田	洋平																
南 陽介	南	陽介																
新規 131	★☆☆	特定の文字で区切られた文字列から N番目の要素を抽出！  「(新関数)TEXTSPLIT」と「INDEX」を組み合わせると、簡単に抽出できます☺	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区切り文字「-」</th> <th>3番目の要素</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A100-B100-C100-D100</td> <td>C100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>↑=INDEX(TEXTSPLIT(B3,"-"),3)</td> </tr> <tr> <th>区切り文字「=!*」</th> <th>3番目の要素</th> </tr> <tr> <td>A100=B100!C100*D100</td> <td>C100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>↑=INDEX(TEXTSPLIT(B6,{"=","!","*"}),3)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※区切り文字の順番は自由</p>	区切り文字「-」	3番目の要素	A100-B100-C100-D100	C100		↑=INDEX(TEXTSPLIT(B3,"-"),3)	区切り文字「=!*」	3番目の要素	A100=B100!C100*D100	C100		↑=INDEX(TEXTSPLIT(B6,{"=","!","*"}),3)			
区切り文字「-」	3番目の要素																	
A100-B100-C100-D100	C100																	
	↑=INDEX(TEXTSPLIT(B3,"-"),3)																	
区切り文字「=!*」	3番目の要素																	
A100=B100!C100*D100	C100																	
	↑=INDEX(TEXTSPLIT(B6,{"=","!","*"}),3)																	

No	重要度	投稿内容	画像																																																																																																																																																	
新規	132 ★☆☆	『週の開始日を求める』																																																																																																																																																		
		複雑そうに見えて意外と単純です！																																																																																																																																																		
		月曜日を基準にする場合は、月曜日から過ぎた分を引けば求まります☺																																																																																																																																																		
		月→日付-0																																																																																																																																																		
		火→日付-1																																																																																																																																																		
		水→日付-2																																																																																																																																																		
		...																																																																																																																																																		
		日→日付-6																																																																																																																																																		
		(IT予備メンバーの相談内容が元です☺)																																																																																																																																																		
				<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> <th>F</th> <th>G</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td>日付</td> <td>週の開始日(月)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>2023/1/29(日)</td> <td>2023/1/23(月)</td> <td>=B3-WEEKDAY(B3,3)</td> <td></td> <td>=WEEKDAY(シリアル値, [種類])</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td>2023/1/30(月)</td> <td>2023/1/30(月)</td> <td></td> <td></td> <td>[種類]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td>2023/1/31(火)</td> <td>2023/1/30(月)</td> <td></td> <td></td> <td>1: 1(日)~7(土)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2: 1(月)~7(日)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td>日付</td> <td>週の開始日(火)</td> <td></td> <td></td> <td>3: 0(月)~6(日)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td>2023/2/5(日)</td> <td>2023/1/31(火)</td> <td>=B8-(WEEKDAY(B8,12)-1)</td> <td></td> <td>11: 1(月)~7(日)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td></td> <td>2023/2/6(月)</td> <td>2023/1/31(火)</td> <td></td> <td></td> <td>12: 1(火)~7(月)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td></td> <td>2023/2/7(火)</td> <td>2023/2/7(火)</td> <td></td> <td></td> <td>13: 1(水)~7(火)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>14: 1(木)~7(水)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td></td> <td>日付</td> <td>週の開始日(水)</td> <td></td> <td></td> <td>15: 1(金)~7(木)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td></td> <td>2023/2/14(火)</td> <td>2023/2/8(水)</td> <td>=B13-(WEEKDAY(B13,13)-1)</td> <td></td> <td>16: 1(土)~7(金)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td></td> <td>2023/2/15(水)</td> <td>2023/2/15(水)</td> <td></td> <td></td> <td>17: 1(日)~7(土)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td></td> <td>2023/2/16(木)</td> <td>2023/2/15(水)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>17</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	E	F	G	1								2		日付	週の開始日(月)					3		2023/1/29(日)	2023/1/23(月)	=B3-WEEKDAY(B3,3)		=WEEKDAY(シリアル値, [種類])		4		2023/1/30(月)	2023/1/30(月)			[種類]		5		2023/1/31(火)	2023/1/30(月)			1: 1(日)~7(土)		6						2: 1(月)~7(日)		7		日付	週の開始日(火)			3: 0(月)~6(日)		8		2023/2/5(日)	2023/1/31(火)	=B8-(WEEKDAY(B8,12)-1)		11: 1(月)~7(日)		9		2023/2/6(月)	2023/1/31(火)			12: 1(火)~7(月)		10		2023/2/7(火)	2023/2/7(火)			13: 1(水)~7(火)		11						14: 1(木)~7(水)		12		日付	週の開始日(水)			15: 1(金)~7(木)		13		2023/2/14(火)	2023/2/8(水)	=B13-(WEEKDAY(B13,13)-1)		16: 1(土)~7(金)		14		2023/2/15(水)	2023/2/15(水)			17: 1(日)~7(土)		15		2023/2/16(木)	2023/2/15(水)					16								17							
			A	B	C	D	E	F	G																																																																																																																																											
		1																																																																																																																																																		
		2		日付	週の開始日(月)																																																																																																																																															
		3		2023/1/29(日)	2023/1/23(月)	=B3-WEEKDAY(B3,3)		=WEEKDAY(シリアル値, [種類])																																																																																																																																												
		4		2023/1/30(月)	2023/1/30(月)			[種類]																																																																																																																																												
		5		2023/1/31(火)	2023/1/30(月)			1: 1(日)~7(土)																																																																																																																																												
		6						2: 1(月)~7(日)																																																																																																																																												
7		日付	週の開始日(火)			3: 0(月)~6(日)																																																																																																																																														
8		2023/2/5(日)	2023/1/31(火)	=B8-(WEEKDAY(B8,12)-1)		11: 1(月)~7(日)																																																																																																																																														
9		2023/2/6(月)	2023/1/31(火)			12: 1(火)~7(月)																																																																																																																																														
10		2023/2/7(火)	2023/2/7(火)			13: 1(水)~7(火)																																																																																																																																														
11						14: 1(木)~7(水)																																																																																																																																														
12		日付	週の開始日(水)			15: 1(金)~7(木)																																																																																																																																														
13		2023/2/14(火)	2023/2/8(水)	=B13-(WEEKDAY(B13,13)-1)		16: 1(土)~7(金)																																																																																																																																														
14		2023/2/15(水)	2023/2/15(水)			17: 1(日)~7(土)																																																																																																																																														
15		2023/2/16(木)	2023/2/15(水)																																																																																																																																																	
16																																																																																																																																																				
17																																																																																																																																																				

# ExcelVBA小技集

No	重要度	投稿内容	画像
1	★★☆	<p>『VBAで日時取得』</p> <p>Dateと書くだけで今日の日付が取得できるのは便利ですね！</p> <p>ちなみに、「DateAdd」を活用することで、1年後や1日前,1分後などを取得できます。</p> <p>ちなみに「DateAdd("m", 1, Now)」で1か月後の日時を取得できます！ →m：月</p>	<pre>Option Explicit Sub 現在の日時取得()     Debug.Print "[Now]"; Now     Debug.Print "[Date]"; Date     Debug.Print "[Year(Date)]"; Year(Date)     Debug.Print "[Month(Date)]"; Month(Date)     Debug.Print "[Day(Date)]"; Day(Date)     Debug.Print "[Time]"; Time     Debug.Print "[Hour(Time)]"; Hour(Time)     Debug.Print "[Minute(Time)]"; Minute(Time)     Debug.Print "[Second(Time)]"; Second(Time) End Sub</pre>
2	★☆☆	<p>『選択した順番に"瞬時に"連番を入力』</p> <p>数行のVBAで実現可能です！ 複数選択はCtrl押ししながら選択です☺</p> <p>※範囲の場合は、左上から行→列と連番が入力されます</p>	<pre>Sub setNum()     Dim i As Integer     Dim r As Range     i = 1     For Each r In Selection         r.Value = i         i = i + 1     Next r End Sub</pre>
3	★☆☆	<p>個人的なExcelマクロの欠点は、実行したら戻せない点です☹</p> <p>そのため、実行前に保存するのが対策になります！ (万が一はファイルを閉じることで復元)</p> <p>「よく保存し忘れて萎える…」という方は、処理の頭に保存する内容を記述の場合によってはあります</p>	<pre>Sub 処理()     ActiveWorkbook.Save     '処理内容     '... End Sub</pre>
4	★☆☆	<p>『データ行を間に挿入』</p> <p>「手作業で各値の一番下に行を挿入しているけど、毎日の作業で大変…」</p> <p>「1日5分くらいかかる…」</p> <p>という相談がありました。</p> <p>これで、1日1秒です☺</p> <p>※DoWhileは理解して使わないと無限ループになる危険性があります</p>	<pre>Sub Sample()     Dim r As Integer     r = 3     Do While Cells(r, "A").Value &lt;&gt; ""         If Cells(r, "A").Value &lt;&gt; Cells(r - 1, "A").Value Then             Rows(r).Insert             r = r + 1         End If         r = r + 1     Loop End Sub</pre>

No	重要度	投稿内容	画像
5	★★★☆☆	<p>『VBAを開発する上でのおすすめ設定！』</p> <p>---</p> <p>入力中に他の場所を修正したくなりクリック ↓ ピコン (メッセージボックス)</p> <p>---</p> <p>これをなくせます☺</p>	 <p><b>VBEの構文の警告が邪魔！</b></p> <p>警告がなくなるだけで、チェックはしてくれます！</p>
6	★☆☆☆☆	<p>[VBA]処理時間のかかる機能におすすめ！</p> <p>『ステータスバーで進捗確認』</p> <p>「Application.StatusBar = "値"」でステータスバーに表示できます！</p> <p>最後に「Application.StatusBar = False」を忘れずに☺</p>	 <p><b>ステータスバーで進捗確認</b></p> <pre>Sub 処理() Application.StatusBar = "処理中:0%" 処理 Application.StatusBar = "処理中:20%" 処理 Application.StatusBar = "処理中:50%" 処理 Application.StatusBar = "処理中:80%" 処理 Application.StatusBar = False End Sub</pre> <p>29 処理中：50%</p>
7	★★★☆☆	<p>『クイックアクセスツールバー』</p> <p>意外と知られていませんが、クイックアクセスツールバーはブック単位でも登録できます☺</p> <p>なので、作成したマクロをボタンなどではなくクイックアクセスツールバーに登録するのもいいですね！</p>	
8	★★★★★	<p>Excelを使いこなすなら『マクロ』は覚えた方がいいです！</p> <p>最近は標準機能が優れていますが、繰り返し処理の高速化には「マクロ」が最適です☺</p> <p>まずは「マクロの記録」を使って記録した中身を確認するといいです！</p>	 <p><b>または</b></p>
9	★★★☆☆	<p>『個人用マクロブック』</p> <p>「マクロの記録」時に保存先を「個人用マクロブック」にすると、「Personal.xlsm」が作成されます！</p> <p>「Personal.xlsm」はExcel起動時に非表示で開かれる特殊なブックで、これに保存すると常に実行できるようになります！</p>	

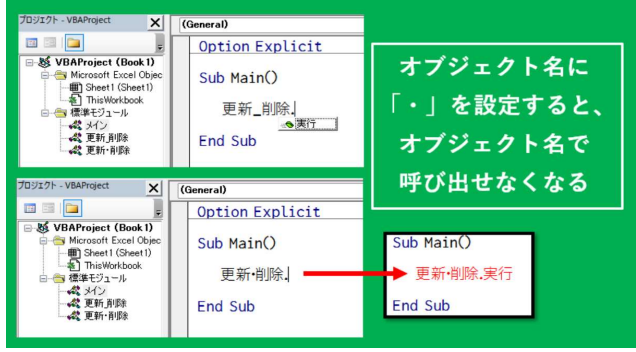


No	重要度	投稿内容	画像
10	★★☆	<p>『相対参照の記録』</p> <p>Macro1とMacro2は同じ操作を記録し、Macro2は「相対参照の記録」を使って比較しています。</p> <p>①選択セル(A1)に"A"と入力 ②B2を選択して"A"と入力 ③B3を選択</p> <p>Macro2ではOffsetになっていますね！ Offset(1,1)：右下セル</p>	<pre> Sub Macro10 Macro1 Macro ActiveCell.FormulaR1C1 = "A" Range("B2").Select ActiveCell.FormulaR1C1 = "A" Range("B3").Select End Sub  Sub Macro20 「相対参照で記録」の活用例 Macro2 Macro ActiveCell.FormulaR1C1 = "A" ActiveCell.Offset(1, 1).Range("A1").Select ActiveCell.FormulaR1C1 = "A" ActiveCell.Offset(1, 0).Range("A1").Select End Sub                     </pre>
11	★★☆	<p>複雑な条件は必ず『図で表現』する！</p> <p>自分では理解しているつもりでも、相手には伝わらないことがあります。</p> <p>また、伝える際に、条件が漏れることがあります。</p> <p>図にすることで、条件を漏れなく伝えることができます☺</p>	<pre> graph TD     Q1{60点以上?} -- No --&gt; B     Q1 -- Yes --&gt; Q2{男性?}     Q2 -- Yes --&gt; A     Q2 -- No --&gt; Q3{90点以上?}     Q3 -- Yes --&gt; C     Q3 -- No --&gt; B     Note[条件の漏れ?]     </pre>
12	★★★	<p>『[VBA]どんな値なのか確認したい時』</p> <p>イミディエイトウィンドウを活用することで、1行単位でプログラムを実行でき確認することができます！</p> <p>値を確認したい時は、先頭に「?」を加えることで確認できます☺</p>	<pre> ?Range("A1").Interior.Color 65535                     </pre>
13	★★☆	<p>『VBAの引数』</p> <p>「:=」の意味を知らずにコピペしている方へ！</p> <p>5つの実行結果の予想ができればOKです☺</p> <p>※VBAのOptionalは、省略可能な引数に使います。 Optionalで値が定義されていないdata3は、String型の初期値が設定されます！</p> <p>メッセージボックスの内容は左から [あ,い][あ,う][あ,う,お][あ,い,お][あ,う,お]</p>	<pre> Sub 引数省略可(data1 As String, Optional data2 As String = "い", Optional data3 As String) If data3 = "" Then MsgBox "data1 " &amp; data1 &amp; " " &amp; vbLf &amp; "data2 " &amp; data2 &amp; " " Else MsgBox "data1 " &amp; data1 &amp; " " &amp; vbLf &amp; "data2 " &amp; data2 &amp; " " &amp; vbLf &amp; "data3 " &amp; data3 &amp; " " End If End Sub                     </pre>



No	重要度	投稿内容	画像
14	★☆☆	<p>『VBAで色情報が正しく取得できない! ?』</p> <p>原因は、 恐らく条件付き書式で設定されているものかと思います!</p> <p>条件付き書式の情報に関しては「DisplayFormat」で取得できません☹ ※ワークシート関数には使えません</p>	
15	★★★	<p>『ThisWorkbookとActiveWorkbook』</p> <p>VBAで「複数のExcelファイル进行操作する時」や「アドインを開発する時」には注意する必要があります!</p> <p>アドインにThisWorkbookを使うと、開いているExcelではなくアドインのブック情報になってしまいます☹</p>	<p>▼VBAが書かれているワークブックの情報 <b>ThisWorkbook</b></p> <p>▼現在選択しているワークブックの情報 <b>ActiveWorkbook</b></p>
16	★★☆	<p>VBAで数字の比較がうまくいかない☹</p> <p>もしかすると、文字列と数字が混ざっている可能性があります!</p> <p>そんな時は、Val()で囲むことで数字に変換して比較することができます☺</p>	
17	★★☆	<p>『IF文の条件の順番』</p> <p>2つは同じ条件ですが捉え方が違います。 A1が軸なのか、B1が軸なのか</p> <p>「絶対こうしなければいけない」というルールはありませんが、文章にして読みやすいように条件式を作ってコメントアウトを残しておくといいです☺</p>	<pre>Sub Sample()     'A1がB1と等しい場合     If Range("A1").Value = Range("B1").Value Then         End If      'B1がA1と等しい場合     If Range("B1").Value = Range("A1").Value Then         End If End Sub</pre>
18	★★★	<p>『VBAでシートの指定方法』</p> <p>・オブジェクト名 シート名変更：影響なし シート順番：影響なし</p> <p>・シート名 シート名変更：影響あり シート順番：影響なし</p> <p>・番号 シート名変更：影響なし シート順番：影響あり</p> <p>目的に合った指定方法で!</p>	

No	重要度	投稿内容	画像
19	★☆☆	<p>色が付いているセルの数字の合計を求めたい時に！</p> <p>「ColorSum(対象の範囲,対象の色)」</p> <p>※数字以外の値は無視されます</p>	
20	★☆☆	<p>色が付いているセルの数を数えたい時に！</p> <p>「ColorCount(対象の範囲,色の付いたセル)」</p>	
21	★★☆	<p>VBA開発は『なるべく無駄な処理』をなくす！</p>	
22	★★★	<p>『VBAを書くとき』</p> <p>Tabキーを押すとスペースが4つ分で調整されます！</p> <p>インデントの有無は動作に影響しませんが、見やすさに影響します！</p>	

No	重要度	投稿内容	画像																					
23	★★★★	<p>『最終行にデータ追加』</p> <p>このパターンを覚えておけば、色んなシステムに応用できます☺</p> <p>1行目、変数(入れ物)の用意                  2行目、B列の値の入力されている最終行の次の行数を取得                  3行目、先ほど取得した行数のB列にD2の値を入力                  4行目、D2の値を削除</p>	 <pre> Sub 登録()     Dim rowNo As Long     rowNo = Cells(Rows.Count, "B").End(xlUp).Row + 1     Cells(rowNo, "B").Value = Range("D2").Value     Range("D2").ClearContents End Sub                 </pre>																					
24	★★★★	<p>『VBAの重要な用語』</p> <p>用語を覚えなくても記述することはできますが、用語を覚えるとエラー時に素早く解決することができるようになります！</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>オブジェクト</th> <th>プロパティ</th> <th>メソッド</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Excelの部品など</td> <td>[属性]持っている値など</td> <td>[処理]何かしらの処理など</td> </tr> <tr> <td>Range("A1")</td> <td>Range("A1").Value</td> <td>Range("A1").Delete</td> </tr> <tr> <td>Cells(1,1)</td> <td>...Interior.Color</td> <td>Worksheets.Add After:=...</td> </tr> <tr> <td>Worksheets(1)</td> <td>...Interior.ColorIndex</td> <td>Range("A1").Clear</td> </tr> <tr> <td>Range("A1").Interior</td> <td>Range("A1").Width</td> <td>Worksheets(1).Protect</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table>	オブジェクト	プロパティ	メソッド	Excelの部品など	[属性]持っている値など	[処理]何かしらの処理など	Range("A1")	Range("A1").Value	Range("A1").Delete	Cells(1,1)	...Interior.Color	Worksheets.Add After:=...	Worksheets(1)	...Interior.ColorIndex	Range("A1").Clear	Range("A1").Interior	Range("A1").Width	Worksheets(1).Protect	...	...	...
オブジェクト	プロパティ	メソッド																						
Excelの部品など	[属性]持っている値など	[処理]何かしらの処理など																						
Range("A1")	Range("A1").Value	Range("A1").Delete																						
Cells(1,1)	...Interior.Color	Worksheets.Add After:=...																						
Worksheets(1)	...Interior.ColorIndex	Range("A1").Clear																						
Range("A1").Interior	Range("A1").Width	Worksheets(1).Protect																						
...	...	...																						
25	★★★☆☆	<p>『VBAのオブジェクト名』</p> <p>オブジェクト名に「・」を設定できるけど、オブジェクト名で呼び出せなくなるので使わない方がいいかもです！</p>	 <p>オブジェクト名に「・」を設定すると、オブジェクト名で呼び出せなくなる</p>																					
26	★★★★	<p>『VBAでの入力ミスを防ぐ方法』</p> <p>「Ctrl+Space」で入力候補を表示できます。</p> <p>少しだけ文字を入力してから入力候補を表示することで、候補を絞れます！                  ※候補が1つしかない場合は、瞬時に入力されます☺</p>	 <p>変数などの入力ミスを防ぐ方法</p> <p>入力候補を表示します!</p> <p>頭の文字を数文字入力して、「Ctrl + Space」</p>																					

No	重要度	投稿内容	画像																											
27	★★★★	<p>『VBAで変数宣言(Dim)は省略していいの？』</p> <p>変数宣言を省略するメリットは、 「入力が楽」 これだけです。 それに対し、デメリットが多すぎです。(割愛)</p> <p>繰り返し用「i」などの変数くらいなら省略していいかと思いますが、基本は省略しない方がいいです！</p>	<p>「Option Explicit」をモジュールの先頭に入力すると変数宣言を強制することができます！</p> <p>「Option Explicit」は設定しておく、自動で入力されます。</p>																											
28	★★★☆☆	<p>「自作した関数がセルの編集で更新されない🐼」</p> <p>対策として、 Application.Volatile を入れるという方法があります！</p> <p>これを実行すると、 自身と関係ないセルが修正された際にも数式が更新されるようになります！</p>	<p>ユーザー定義関数を揮発性にする 揮発性：関係のないセルが更新された時に再計算する</p>																											
29	★★★★	<p>VBAでは、変数宣言や型宣言を省略することができます。 ただ、変数や型について理解している上で省略するのが、知らずに省略するのでは訳が違います。 (理解していないとエラーの時に困ります🐼)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>データ型</th> <th>名称</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Integer</td> <td>整数型</td> <td>-32,768~32,767の整数</td> </tr> <tr> <td>Long</td> <td>長整数型</td> <td>-2,147,483,648~2,147,483,647の整数</td> </tr> <tr> <td>Single</td> <td>単精度浮動小数点数型</td> <td>-3.402823E38~-1.401298E-45(負) 1.401298E-45~3.402823E38(正)</td> </tr> <tr> <td>Double</td> <td>倍精度浮動小数点数型</td> <td>-1.79769313486232E308~- 4.94065645841247E-324(負) 4.94065645841247E- 324~1.79769313486232E308(正)</td> </tr> <tr> <td>String</td> <td>文字列型</td> <td>文字列</td> </tr> <tr> <td>Boolean</td> <td>ブール型</td> <td>TrueまたはFalse</td> </tr> <tr> <td>Object</td> <td>オブジェクト型</td> <td>WorkbookやWorksheetなど 全てのオブジェクト型を含む</td> </tr> <tr> <td>Variant</td> <td>バリエーション型</td> <td>全てのデータ</td> </tr> </tbody> </table>	データ型	名称	説明	Integer	整数型	-32,768~32,767の整数	Long	長整数型	-2,147,483,648~2,147,483,647の整数	Single	単精度浮動小数点数型	-3.402823E38~-1.401298E-45(負) 1.401298E-45~3.402823E38(正)	Double	倍精度浮動小数点数型	-1.79769313486232E308~- 4.94065645841247E-324(負) 4.94065645841247E- 324~1.79769313486232E308(正)	String	文字列型	文字列	Boolean	ブール型	TrueまたはFalse	Object	オブジェクト型	WorkbookやWorksheetなど 全てのオブジェクト型を含む	Variant	バリエーション型	全てのデータ
データ型	名称	説明																												
Integer	整数型	-32,768~32,767の整数																												
Long	長整数型	-2,147,483,648~2,147,483,647の整数																												
Single	単精度浮動小数点数型	-3.402823E38~-1.401298E-45(負) 1.401298E-45~3.402823E38(正)																												
Double	倍精度浮動小数点数型	-1.79769313486232E308~- 4.94065645841247E-324(負) 4.94065645841247E- 324~1.79769313486232E308(正)																												
String	文字列型	文字列																												
Boolean	ブール型	TrueまたはFalse																												
Object	オブジェクト型	WorkbookやWorksheetなど 全てのオブジェクト型を含む																												
Variant	バリエーション型	全てのデータ																												
30	★★★★	<p>『【VBA】ActivateとSelectの違い』</p> <p>単体のセルを選択する上では同じですが、複数セルを選択する場合に異なります。</p> <p>どちらを使うかは意味合いによって変わってくるかもです☺</p>	<p>Range("B1").Activate</p> <p>Range("B1").Select</p>																											

2023年1月27日 初版  
2023年2月28日 第2版

著 者 業務効率化のちゃんりょう  
発行人 業務効率化のちゃんりょう  
発行所 IT予備 ( <https://it-yobi.com/> )

・公式サイト  
IT予備 ( <https://it-yobi.com/> )

・SNS  
YouTube ( [https://www.youtube.com/@chanryo\\_eff](https://www.youtube.com/@chanryo_eff) )  
TikTok ( [https://www.tiktok.com/@program\\_chanryo](https://www.tiktok.com/@program_chanryo) )  
Twitter ( [https://twitter.com/chanryo\\_eff](https://twitter.com/chanryo_eff) )  
Instagram ( [https://www.instagram.com/chanryo\\_eff/](https://www.instagram.com/chanryo_eff/) )

・相談  
ストアカ ( <https://www.street-academy.com/steachers/367432> )

lit.link



<https://lit.link/chanryo1>